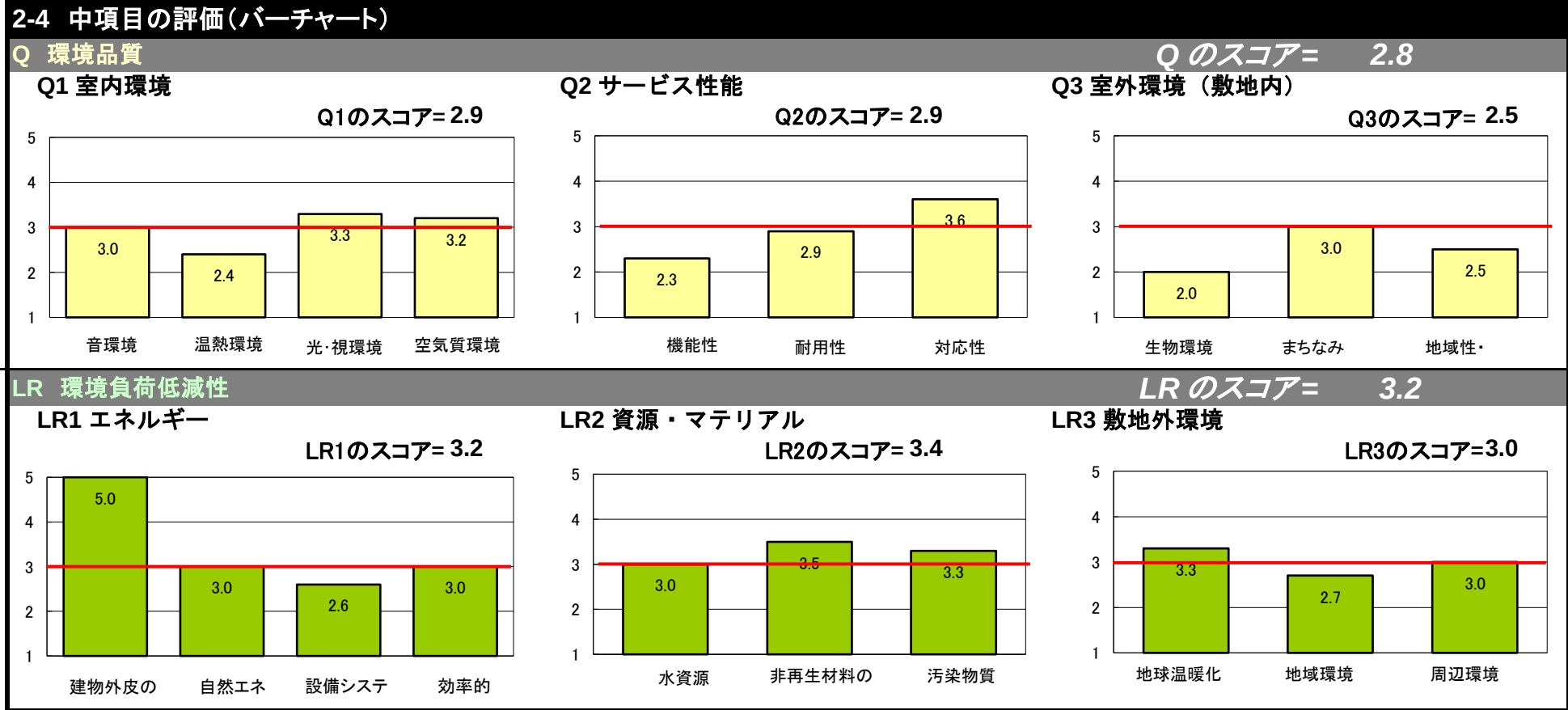
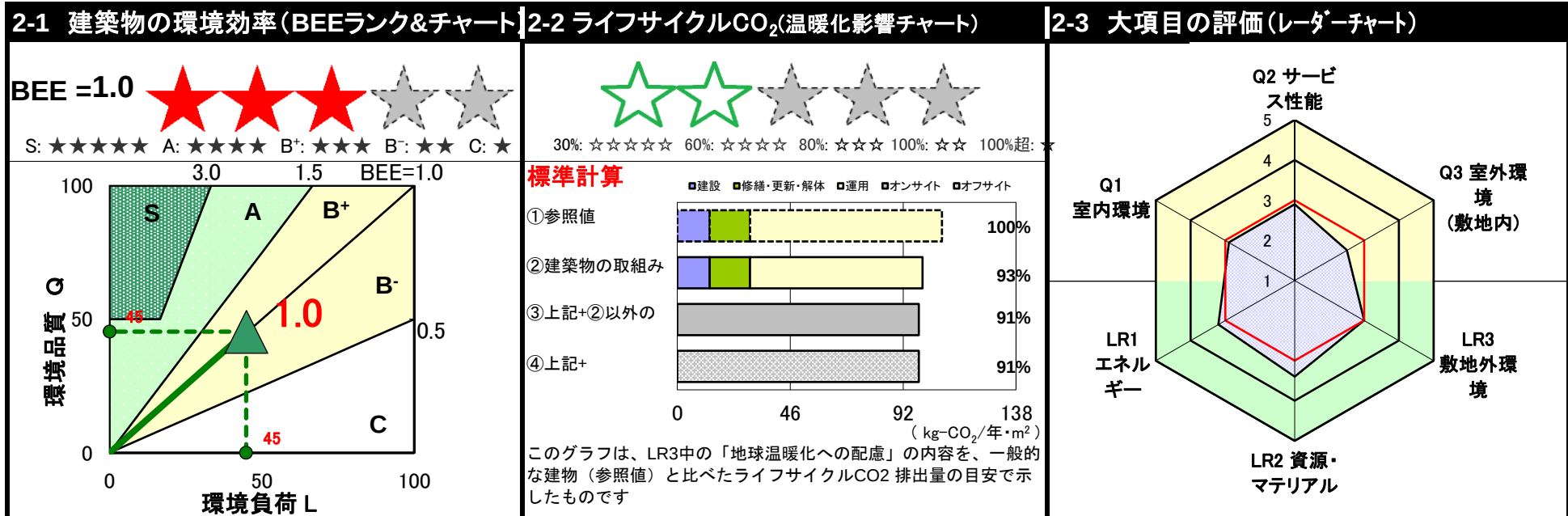


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	神奈川少年更生支援センター(仮称) 庁舎・教育事務棟	階数	地上2F	
建設地	神奈川県相模原市中央区小山4丁目788-1外	構造	RC造	
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	323 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年07月 予定	評価の実施日	2023年06月09日	
敷地面積	7,244 m ²	作成者	一級建築士事務所 株式会社 東畑建築事務所 本社オフィス 東京	
建築面積	1,885 m ²	確認日	2024年02月19日	
延床面積	2,890 m ²	確認者	法務省大臣官房施設課	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
橋本駅から徒歩で約22分の第二種住居地域に少年院が計画され、その一部として庁舎・教育事務棟を計画した。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
2.5%≦[昼光率]。 建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍となっている。	リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上。 ステンレスグットを使用している。 給水SUS(C)、給湯SUS(C)、冷媒(C)を使用。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPI=0.66。	OAフロア、「躯体+軽鉄+仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	ライフサイクルCO ₂ 排出率91%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される